巻 頭 言

半世紀ぶりの月面有人着陸を目指すアルテミス計画は，持続的な月活動の実現を目指す壮大なプロジェクトです．その最初の有人着陸となるアルテミス3号に，私たちも参加することになりました．NASAのプロジェクト・サイエンティストは，私たちの提案の科学的意義を高く評価したと述べていますが，実際には，JAXAへの深い信頼感も背景にあったと推測しています．JAXAは国際的に尊敬されており，その恩恵を私たちは受けているのです．

日本の宇宙関連企業も，同様の恩恵を受けるのではないでしょうか．近年，宇宙開発における民間セクターへの期待と役割が大きく変化し，政府は宇宙戦略基金を通じてこれを支援する姿勢を示しています．今後民間セクターから生まれる新たな活動にとっても，JAXAや日本の基礎科学への国際的な高い評判は，強い追い風となるでしょう．

JAXAは地球観測衛星の安定運用やISSへの貢献といった着実な技術開発に加え，小惑星からのサンプルリターン分野の開拓や，西側諸国で今世紀初となる月面着陸に成功するなど，挑戦的な分野の活躍でも国際的に高く評価されています．惑星科学会の関係者は，JAXAの太陽系科学ミッションにおける包括的な取り組みや，関連分野の基礎的な研究を通じて，日本の惑星科学を強化する役割を果たしています．このような総合的な活動が，我が国の惑星科学の国際的なビジビリティ向上につながっており，それが日本の宇宙開発分野の強固な基盤として国際的にも認識されています．

民間セクターの新たな動きは，研究の多様化や革新的な技術開発の促進，探査機会の向上などの意味で，我が国の惑星科学をさらに活発化し，惑星科学会の皆さんの活躍の場をますます広げるでしょう．この分野の若手にとって，素晴らしい環境が整いつつあると感じます．このような動きを皆でしっかり支えていきたいですね．

宮本 英昭（東京大学）